



さかわようちえんだより

～3学期号クラスだより合併号～年少組
さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子
わ:わくわくしながらチャレンジする子



令和4年3月25日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 向笠 弘子

卒園式の次の日「ほし組さん、いないの？」と寂しそうに言う姿がたくさん見られました。4月に入園して、様々なことを教えてくれたほし組さんとの園生活が、子どもたちにとって楽しく充実したものであったということに改めて感じました。子どもたちの心の中には、しっかりと年長組としての自覚が芽生え、亀の世話や挨拶当番をさくら組だけの力で行うなど、4月から始まる園生活が楽しみになる姿も随所に見られます。このように子どもたちの成長を感じながら、令和3年度の終わりを迎えることができるのも、保護者の皆様が温かく園生活を見守って下さったおかげです。ご理解ご協力に感謝いたします。来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

幼稚園のことをよろしくね！（年長から年少への引継ぎ）

ほし組から教えてもらったカメの世話や挨拶当番。3月に入ると友達と教え合い協力して、自分たちの力で行っています。時折、やり方が分からなくなり立ち止まり、思い出しながらという様子も見られます。この経験を重ねることで、友達と協力する良さをより一層感じ『友達がいるから大丈夫！』『自分たちでできる！』という自信がわいてきます。4月に新しいさくら組が入園してくる頃、ほし組さんから引き継いだことを自信をもって行ってくれることと思います。今から、ほし組になった子どもたちの姿が楽しみです。



友達と協力して足洗い場の外に水が出ないように真剣に水をこぼしています。

ほし組から教えてもらったことを友達と教え合いながらやっています。



おおきなあれ！（第2学期のさかわっこの育ち）

3学期の始業式で、さくら組に『自分でできることは自分でする』『友達と一緒に考えたことをする』『助けて欲しいときや困ったときに自分で伝える。それに気づいた子は助ける』の3つの願いをしました。（詳しくは園だより冬号をご覧ください。）さくら組さんは、この3つことを、しっかりとやり遂げました。

健やかな心と体の子

戸外の沢山の遊具も、ほし組の力を借りなくても、自分たちで協力して片付けをし、とても頼もしく感じます。また、金魚の世話も、餌の量を教え合いながら行い、自分たちでできることを探して友達と一緒にしています。



考えたことを実行する子

「坂にしたらコマ動くな？」「緑(茎)を取ってから花をつぶすときれいな色が出るよ」など、『これをやりたい!』と思った遊びに友達と一緒に取り組み、考えたことを実現するだけでなく、さらに良くしていこうと取り組んでいます。



助け合う子

「誰か～ここ手伝って!」という声をよく耳にします。一人ではできないけど、友達がいればできることが分かっている証拠。そして、それだけでなく、友達の様子を見て、自分から助ける姿も見られます。



いっぱい遊んでくれてありがとう（お別れ会）

さくら組が計画してくれたお別れ会は、プレゼントが隠された宝探しから始まりました。発見したほし組は喜び倍増です。そして、コロナ禍で卒園式に参加できないため、卒園式で胸に付けるコサージュのプレゼントもありました。渡す時にほし組の友達のことをしっかり見て思いを言葉にして伝える姿に、関わりの深さを感じました。会の最後には、ほし組から、栽培していた野菜を鳥についばまれてしまったさくら組に、設計図を見ながら力を合わせて組み立てたビニールハウスがプレゼントされました。大喜びのさくら組。その後、入って遊ぶ姿が見られました。ほし組がイメージしたように使う日は、来年度になるようです。



ほし組の友達
の目を見て「一
緒に遊んでくれ
てありがとう」
と、思いを伝え
ました



ほし組に案内し
てもらった先に
あった大きなフ
レゼントにびっ
くりのさくら組
でした

ジャガイモの種芋を植えたよ（地域の方との交流）

6月にほし組からももらったジャガイモを今度は自分たちが育てることに！畑の先生、鈴木英雄さんに来ていただいて、畑の耕し、畝づくりの後、教えていただきながら種芋を植え付けました。鈴木さんが来たことを発見した子は、畑の耕しから真剣に様子を見ていました。植え付けでは、自分が置いた種芋にそっと土をかける姿に『おおきくなあれ！おいしくなあれ！』という心の声が聞こえてくるようでした。もちろん、最後にみんなでおまじないもしました。地域の方が『子どもたちのために！』と力を貸してくださることで、豊かな体験ができ豊かな心が育っています。心より感謝いたします。



地域の方との関わりは、
活動が豊かになること
はもちろん、「やってみ
たい」という意欲や「こ
のような人になりたい」
という憧れをもつ大切
な経験となっています。



進級に向けて

次に登園するときは年長組です。かわいい年下の子どもたちが入園してきて、何かをやってあげる活躍の場面も増えます。その時に必要なのが、元気な心と体です。春休み中、身に付いた生活習慣や感染症対策の習慣を崩さないようにしましょう。健やかな成長のために、お子さんと「我が家のおだわらっ子の約束」を決め、家庭でも取り組んでください。保護者の皆さんが進んで守る姿を目にすることで、お子さんも気付き、『守ろう！』という気持ちが強くなると思います。また、お子さんが物事を進んで行った時や頑張った時を見つけて、ほめてあげてください。保護者の皆さんからほめられることは心の栄養となり、4月から始まる年長組としての園生活に、期待と自信が大きく膨らむことでしょう。健康で楽しい春休みを過ごしてください。1年間、ありがとうございました。



元気に春休みを過ごして、心と体が大きくなったみんなにあえるのをたのしみにしています！

おはなし大好き♡ アイディアいっぱいさくら組

4月の入園がついこの間のように感じられますが、子どもたち一人一人の成長の大きさをみると、たくさんの経験を積み重ねた日々があったことがわかります。いよいよ4月からは憧れの年長さんになります。少し不安を感じている子もいるかもしれませんが、きっといろいろなことに一生懸命向き合い、挑戦し、素敵な酒匂幼稚園のリーダーになってくれることと思います。保護者の皆様にはこれまで子どもたちのことを温かく受け止め、優しく言葉をかけていただき、幼稚園の教育にたくさんのご協力をいただいたことに感謝いたします。今年度もコロナ禍の中様々な制約のある幼稚園生活でしたがご理解いただきありがとうございました。

幼稚園のために、みんなのために頑張っています!!



美化活動は子ども達と一緒に側溝の砂上げ作業をしました。



畑にジャガイモの種芋植えをしました。昨年年長さんからもらったことを覚えていて、「新しい年少さんにもあげる」と言っています。

年長さんがいない年少さんだけのカメの世話が始まりました。



ほしぐみさんありがとう♡



お別れ会でさくら組からは紙粘土でつくったマスコットのストラップと卒園式の子サージをプレゼントしました。



ほし組さんから金メダルの他にイラスト入りビニールハウスをいただきました。植物より先に子ども達が入って遊んでいます。

年長さんになったらしたいこと・こんな年長さんになりたい

先日子どもたちに「年長さんになったらどんなことをしたい?」「どんな年長さんになるのかなあ?」と尋ねてみたところ、次のようなことが上がりました。

- ドッジボールやリレーをしたい。
- 挨拶運動・カメ当番をしたい。
- 新しい年少さんに教えてあげたい。
- かっこいい年長さんになりたい。

どれも立派な姿が想像されます。子どもたちなりに年長児に対してもっているイメージが伝わってきました・きっとこのどれもが実現する素敵な年長さんになることと思います。



ありがとうございました

可愛い27名の子ども達との日々はとてもとても楽しいものでした。小さなことに心を動かし、発見したことを一生懸命報告し、友達とニコニコ楽しそうに遊び…そのような子ども達の姿からたくさんの元気をいただきました。子ども達がこのように素直にのびのびと成長しているのは、保護者の方々の家庭での温かなまなざしと優しい関わりがあるからこそだと思います。至らない点も多々ありましたが、私たち教師のことも暖かく受けとめ、支えていただき本当にありがとうございました。これからの子どもたちの成長も一緒に楽しみにしたいと思います。

1年間ありがとうございました。

さくら組 杉浦真由美 舘野育子 末木一美
株木深雪 佐藤真実子



いっぱい遊んでくれてありがとう（お別れ会）

さくら組が計画してくれたお別れ会は、プレゼントが隠された宝探しから始まりました。発見したほし組は喜び倍増です。そして、コロナ禍で卒園式に参加できないため、卒園式で胸に付けるコサージュのプレゼントもありました。渡す時にほし組の友達のことをしっかり見て思いを言葉にして伝える姿に、関わりの深さを感じました。会の最後には、ほし組から、栽培していた野菜を鳥についばまれてしまったさくら組に、設計図を見ながら力を合わせて組み立てたビニールハウスがプレゼントされました。大喜びのさくら組。その後、入って遊ぶ姿が見られました。ほし組がイメージしたように使う日は、来年度になるようです。



ほし組の友達
の目を見て「一
緒に遊んでくれ
てありがとう」
と、思いを伝え
ました



ほし組に案内し
てもらった先に
あった大きなフ
レゼントにびっ
くりのさくら組
でした

ジャガイモの種芋を植えたよ（地域の方との交流）

6月にほし組からもらったジャガイモを今度は自分たちが育てることに！畑の先生、鈴木英雄さんに来ていただいて、畑の耕し、畝づくりの後、教えていただきながら種芋を植え付けました。鈴木さんが来たことを発見した子は、畑の耕しから真剣に様子を見ていました。植え付けでは、自分が置いた種芋にそっと土をかける姿に『おおきくなあれ！おいしくなあれ！』という心の声が聞こえてくるようでした。もちろん、最後にみんなでおまじないもしました。地域の方が『子どもたちのために！』と力を貸してくださることで、豊かな体験ができ豊かな心が育っています。心より感謝いたします。



地域の方との関わりは、
活動が豊かになること
はもちろん、「やってみ
たい」という意欲や「こ
のような人になりたい」
という憧れをもつ大切
な経験となっています。



進級に向けて

次に登園するときは年長組です。かわいい年下の子もたちが入園してきて、何かをやってあげる活躍の場面も増えます。その時に必要なのが、元気な心と体です。春休み中、身に付いた生活習慣や感染症対策の習慣を崩さないようにしましょう。健やかな成長のために、お子さんと「我が家のおだわらっ子の約束」を決め、家庭でも取り組んでください。保護者の皆さんが進んで守る姿を目にすることで、お子さんも気付き、『守ろう！』という気持ちが強くなると思います。また、お子さんが物事を進んで行った時や頑張った時を見つけて、ほめてあげてください。保護者の皆さんからほめられることは心の栄養となり、4月から始まる年長組としての園生活に、期待と自信が大きく膨らむことでしょう。健康で楽しい春

